



平居 ゆかり 議員 やとみ志政会

問 自治会 DX をどう進めるか

答 持続可能な自治会へ

問 自治会脱退問題の負担感や不公平感からくる地域の分断について本市の認識は。

答 **〔市民生活部長〕** 加入者減少は負担の偏りや地域のつながりの希薄化を招く懸念があり、加入促進ガイドブック等で支援している。

問 他自治体の自治会支援アプリの評価は。

答 アプリは情報共有の迅速化や役員負担軽減、災害時の安否確認に有効だが、二重運用や登録率低迷等の課題もある。

問 自治会支援アプリ等について、地域づくり補助金を活用した立ち上げ支援の可能性は。

答 導入経費には地域づくり補助金の活用が可能である。

問 自治会運営における DX や新たな仕組みづくりの必要性、自治会の持続可能性に向けた具体的な方向性について市長の見解は。

答 **〔市長〕** DX は持続可能な自治会活動の一助と捉え、自治会に合ったデジタル化を支援していく。



イメージ画像

問 子どもの権利を理解しているか

答 守ると育てるを両立

問 子どもの意見尊重と最善の利益について、学校現場での共通認識は。

答 **〔教育部長〕** 子どもの権利を尊重し、一人ひとりを大切にした教育活動を進めている。

問 権利尊重が進む中、生活指導や学級運営への影響をどう把握しているか。

答 意見尊重は希望を全て受け入れることなく、将来の成長や社会性も含め判断する。

問 教職員が保護者対応や権利侵害への不安なく指導できる支援体制は整っているか。

答 管理職や教育委員会が連携し、教職員が安心して指導できるよう組織的に支援している。

問 協調性や共同性の価値をどう捉え、自由や多様性と併せてどう伝えているか。

答 協調性や責任感を育む集団活動は大切な学びの機会と考えている。

問 「こどもまんなか社会」として、本市はどのような社会を目指すのか。

答 **〔教育長〕** 学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもの成長を支える環境づくりに取り組む。



イメージ画像